

# 市内経営動向調査

令和2年度7月～9月期（第2四半期）

- ① 調査の時期 令和2年10月
- ② 調査の期間 令和2年7月～令和2年9月
- ③ 調査対象企業 280社
- ④ 回収状況 148社（回答率52.9%）
- ⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、業界の景況感、前年同期比売上動向（令和元年7月～9月）、前年同期比採算動向（令和元年7月～9月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種合算

全業種合算でのDI値は「市内の景況感▲63.7(前回比+6.2)」、「市内業界の景況感▲56.5(+5.5)」、「前年同期比の売上動向▲57.4(+3.5)」、「前年同期比の採算動向▲50.3(+9.8)」と全ての項目で改善に転じた。回復への動きを見せているものの、売上動向はH20以降過去4番目に低い数値を、採算動向は過去3番目に低い数値を記録する等、依然として厳しい経営環境にあることが窺える。業種ごとに見れば、比較的コロナウイルスの影響が小さい建設業、内食需要に下支えされた卸・小売業を中心に改善の動きが見られる一方で、飲食業、宿泊業、イベント関連業等を含むサービス業において前回調査に続いて悪化し、回復に向けた動きに差が出ている。全国的には新型コロナウイルスの影響により、巣ごもり消費が拡大し、飲食料品の売れ行きが堅調だった。一方、消費者のマインド低下や観光需要の低迷から、飲食・宿泊をはじめ関連産業の経営は依然厳しく、中小企業の景況感は持ち直しに向けた動きがみられるものの、力強さに欠く状況が続いている。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、建設業▲31.4(前回比+6.1)、製造業▲60.0(+16.0)、卸・小売業▲66.7(+17.1)、サービス業▲92.3(-10.0)と建設業、製造業、卸・小売業において改善し、サービス業において悪化した。サービス業は5期連続の悪化となり、リーマンショックのあったH20の第2四半期(DI値▲92.7)に続く過去2番目に低い数値を記録した。サービス業以外の3業種は前回調査の悪化から今回調査で改善に転じている。

### ○市内業界の景況感

DI値は、建設業▲14.3(前回比+18.2)、製造業▲54.8(+4.4)、卸・小売業▲69.0(+3.9)、サービス業▲82.1(-3.6)と建設業、製造業、卸・小売業において改善し、サービス業において悪化した。改善幅は小さいものの卸・小売業は業界景況感の他、売上動向、採算動向も2期連続で改善している。一部の企業からは内食需要の拡大を指摘する声がある一方、服飾品等の不要不急の商品を扱う小売業者からは消費マインドの低下が、飲食店、宿泊施設を顧客に持つ卸業者からは販売先の不振といった声も聞かれており、回復への動きはまだら模様の状況。

### ○前年同期比の売上動向

DI値は、建設業▲20.0(前回比+23.9)、製造業▲58.1(-6.2)、卸・小売業▲60.5(+4.4)、サービス業▲87.2(-10.7)と建設業、卸・小売業において改善し、製造業、サービス業において悪化した。製造業は4期連続の悪化となっている。3期連続悪化のサービス業は前回記録した過去最低の数値を売上動向、採算動向の両指標で更新した。

### ○前年同期比の採算動向









































DI値は、建設業▲25.7(前回比+19.3)、製造業▲48.4(+5.5)、卸・小売業▲44.2(+8.6)、サービス業▲81.6(-1.2)と建設業、製造業、卸・小売業において改善し、サービス業において悪化した。建設業は前回調査で-38.8と大幅な悪化を記録していたが、今回は大きく改善に転じるなど一進一退の動きを見せており、今後の注視が必要である。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 63.7				全業種 DI値 ▲ 56.5				全業種 DI値 ▲ 57.4				全業種 DI値 ▲ 50.3			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	1.35%	1.4	1.好転	1	0.68%	0.7
2.良い	4	2.74%	2.7	2.良い	5	3.40%	3.4	2.やや増加	7	4.73%	4.7	2.やや好転	9	6.12%	6.1
3.普通	45	30.82%	30.8	3.普通	54	36.73%	36.7	3.変わらない	45	30.41%	30.4	3.変わらない	53	36.05%	36.1
4.悪い	79	54.11%	54.1	4.悪い	62	42.18%	42.2	4.やや減少	38	25.68%	25.7	4.やや悪化	40	27.21%	27.2
5.大変悪い	18	12.33%	12.3	5.大変悪い	26	17.69%	17.7	5.減少	56	37.84%	37.8	5.悪化	44	29.93%	29.9
建設業 DI値 ▲ 31.4				建設業 DI値 ▲ 14.3				建設業 DI値 ▲ 20.0				建設業 DI値 ▲ 25.7			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.86%	2.9	2.良い	1	2.86%	2.9	2.やや増加	1	2.86%	2.9	2.やや好転	0	0.00%	0.0
3.普通	22	62.86%	62.9	3.普通	28	80.00%	80.0	3.変わらない	26	74.29%	74.3	3.変わらない	26	74.29%	74.3
4.悪い	11	31.43%	31.4	4.悪い	6	17.14%	17.1	4.やや減少	6	17.14%	17.1	4.やや悪化	7	20.00%	20.0
5.大変悪い	1	2.86%	2.9	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	2	5.71%	5.7	5.悪化	2	5.71%	5.7
製造業 DI値 ▲ 60.0				製造業 DI値 ▲ 54.8				製造業 DI値 ▲ 58.1				製造業 DI値 ▲ 48.4			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	3.23%	3.2	1.好転	1	3.23%	3.2
2.良い	1	3.33%	3.3	2.良い	2	6.45%	6.5	2.やや増加	1	3.23%	3.2	2.やや好転	2	6.45%	6.5
3.普通	10	33.33%	33.3	3.普通	10	32.26%	32.3	3.変わらない	9	29.03%	29.0	3.変わらない	10	32.26%	32.3
4.悪い	17	56.67%	56.7	4.悪い	13	41.94%	41.9	4.やや減少	7	22.58%	22.6	4.やや悪化	10	32.26%	32.3
5.大変悪い	2	6.67%	6.7	5.大変悪い	6	19.35%	19.4	5.減少	13	41.94%	41.9	5.悪化	8	25.81%	25.8
卸・小売業 DI値 ▲ 66.7				卸・小売業 DI値 ▲ 69.0				卸・小売業 DI値 ▲ 60.5				卸・小売業 DI値 ▲ 44.2			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.33%	2.3	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	2	4.76%	4.8	2.良い	2	4.76%	4.8	2.やや増加	4	9.30%	9.3	2.やや好転	6	13.95%	14.0
3.普通	10	23.81%	23.8	3.普通	9	21.43%	21.4	3.変わらない	7	16.28%	16.3	3.変わらない	12	27.91%	27.9
4.悪い	24	57.14%	57.1	4.悪い	25	59.52%	59.5	4.やや減少	14	32.56%	32.6	4.やや悪化	14	32.56%	32.6
5.大変悪い	6	14.29%	14.3	5.大変悪い	6	14.29%	14.3	5.減少	17	39.53%	39.5	5.悪化	11	25.58%	25.6
サービス業 DI値 ▲ 92.3				サービス業 DI値 ▲ 82.1				サービス業 DI値 ▲ 87.2				サービス業 DI値 ▲ 81.6			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	1	2.56%	2.6	2.やや好転	1	2.63%	2.6
3.普通	3	7.69%	7.7	3.普通	7	17.95%	17.9	3.変わらない	3	7.69%	7.7	3.変わらない	5	13.16%	13.2
4.悪い	27	69.23%	69.2	4.悪い	18	46.15%	46.2	4.やや減少	11	28.21%	28.2	4.やや悪化	9	23.68%	23.7
5.大変悪い	9	23.08%	23.1	5.大変悪い	14	35.90%	35.9	5.減少	24	61.54%	61.5	5.悪化	23	60.53%	60.5

市内経営動向調査

令和2年度第2四半期(令和2年7月～令和2年9月) DI景況感

※DI値は令和2年度第1四半期(令和2年4月～令和2年6月)と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI値 ▲ 69.9 ⇒ ▲ 63.7 ↓  ⇒  ↑6.2	DI値 ▲ 61.9 ⇒ ▲ 56.5 ↓  ⇒  ↑5.5	DI値 ▲ 60.9 ⇒ ▲ 57.4 ↓  ⇒  ↑3.5	DI値 ▲ 60.1 ⇒ ▲ 50.3 ↓  ⇒  ↑9.8
建設業	DI値 ▲ 37.5 ⇒ ▲ 31.4 ↘  ⇒  ↑6.1	DI値 ▲ 32.5 ⇒ ▲ 14.3 ↘  ⇒  ↑18.2	DI値 ▲ 43.9 ⇒ ▲ 20.0 ↘  ⇒  ↑23.9	DI値 ▲ 45.0 ⇒ ▲ 25.7 ↘  ⇒  ↑19.3
製造業	DI値 ▲ 76.0 ⇒ ▲ 60.0 ↓  ⇒  ↑16.0	DI値 ▲ 59.3 ⇒ ▲ 54.8 ↓  ⇒  ↑4.4	DI値 ▲ 51.9 ⇒ ▲ 58.1 ↓  ⇒  ↓-6.2	DI値 ▲ 53.8 ⇒ ▲ 48.4 ↓  ⇒  ↑5.5
卸・小売業	DI値 ▲ 83.8 ⇒ ▲ 66.7 ↓  ⇒  ↑17.1	DI値 ▲ 73.0 ⇒ ▲ 69.0 ↓  ⇒  ↑3.9	DI値 ▲ 64.9 ⇒ ▲ 60.5 ↓  ⇒  ↑4.4	DI値 ▲ 52.8 ⇒ ▲ 44.2 ↓  ⇒  ↑8.6
サービス業	DI値 ▲ 82.4 ⇒ ▲ 92.3 ↓  ⇒  ↓-10.0	DI値 ▲ 78.4 ⇒ ▲ 82.1 ↓  ⇒  ↓-3.6	DI値 ▲ 76.5 ⇒ ▲ 87.2 ↓  ⇒  ↓-10.7	DI値 ▲ 80.4 ⇒ ▲ 81.6 ↓  ⇒  ↓-1.2



DI100～81



DI80～41



DI40～11



DI10～▲10



DI▲11～▲40

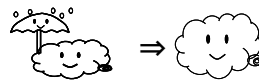


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI値 ▲30.0 ⇒ ▲10.0



↘(平成28年度第1四半期～令和2年度第2四半期の傾向)



(令和2年度第1四半期と令和2年度第2四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」2.7%(0.7%)、「普通」30.8%(28.8%)、「悪い」54.1%(51.0%)、「大変悪い」12.3%(19.6%)となり、DIは、▲63.7(▲69.9)と6.2ポイント改善した。

業種別DIでは、建設業、製造業、卸小売業がプラスに作用し、サービス業のみマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」3.4%(1.9%)、「普通」36.7%(34.2%)、「悪い」42.2%(42.6%)、「大変悪い」17.7%(21.3%)となり、DIは、▲56.5(▲61.9)と5.5ポイント改善した。

業種別DIでは、建設業、製造業、卸小売業がプラスに作用し、サービス業のみマイナスに作用した。

### ③ 前年同期比(令和元年7月~9月)の売上動向について

「増加」1.4%(2.6%)、「やや増加」4.7%(5.1%)、「変わらない」30.4%(23.7%)、「やや減少」25.7%(25.0%)、「減少」37.8%(43.6%)となり、DIは、▲57.4(▲60.9)と3.5ポイント改善した。

業種別DIでは、建設業、卸小売業がプラスに作用し、製造業、サービス業がマイナスに作用した。

### ④ 前年同期比(令和元年7月~9月)の採算動向について

「好転」0.7%(2.0%)、「やや好転」6.1%(3.9%)、「変わらない」36.1%(28.1%)、「やや悪化」27.2%(31.4%)、「悪化」29.9%(34.6%)となり、DIは、▲50.3(▲60.1)と9.8ポイント改善した。

業種別DIでは、建設業、製造業、卸小売業がプラスに作用し、サービス業のみマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※ ( ) 内は前回調査値

**（建設業）** 回答：64社中35社、回答率54.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」2.9%(2.5%)、「普通」62.9%(57.5%)、「悪い」31.4%(27.5%)、「大変悪い」2.9%(12.5%)となり、DIは、▲31.4(▲37.5)と6.1ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」2.9%(2.5%)、「普通」80.0%(62.5%)、「悪い」17.1%(30.0%)、「大変悪い」0.0%(5.0%)となり、DIは、▲14.3(▲32.5)と18.2ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0.0%(0.0%)、「やや増加」2.9%(2.4%)、「変わらない」74.3%(51.2%)、「やや減少」17.1%(24.4%)、「減少」5.7%(22.0%)となり、DIは、▲20.0(▲43.9)と23.9ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は、「好転」0.0%(0.0%)、「やや好転」0.0%(0.0%)、「変わらない」74.3%(55.0%)、「やや悪化」20.0%(30.0%)、「悪化」5.7%(15.0%)となり、DIは、▲25.7(▲45.0)と19.3ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因に関する記述はなかった。

悪化要因では、受注減や工期の遅れ、コロナウイルスの影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因に関する記述はなかった。

悪化要因では、売上減や工事の遅れ、コロナウイルスの影響などの回答の他、高利益案件の減少や協力会社への経費増といった回答があった。

○経営上の問題・課題

工期の遅れを指摘する声の他、人材(特に技術者)不足を懸念する声が多数寄せられた。

(製造業) 回答 : 53 社中 31 社、回答率 58.5%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」3.3%(0.0%)、「普通」33.3%(24.0%)、「悪い」56.7%(60.0%)、「大変悪い」6.7%(16.0%)となり、D I は、▲60.0(▲76.0)と16.0ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」6.5%(0.0%)、「普通」32.3%(40.7%)、「悪い」41.9%(40.7%)、「大変悪い」19.4%(18.5%)となり、D I は、▲54.8(▲59.3)と4.4ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」3.2%(3.7%)、「やや増加」3.2%(7.4%)、「変わらない」29.0%(25.9%)、「やや減少」22.6%(14.8%)、「減少」41.9%(48.1%)となり、D I は、▲58.1(▲51.9)と6.2ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は、「好転」3.2%(3.8%)、「やや好転」6.5%(7.7%)、「変わらない」32.3%(23.1%)、「やや悪化」32.3%(38.5%)、「悪化」25.8%(26.9%)となり、D I は、▲48.4(▲53.8)と5.5ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事現場増などといった回答があった。

悪化要因では、コロナウイルスによる人出、イベント、観光関連の自粛の影響などといった回答が寄せられた。

○昨年同期の採算動向

好転要因に関する記述はなかった。

悪化要因では、コロナウイルスによる活動自粛の影響を受けた売上減などの回答があった。

○経営上の問題・課題

コロナウイルス禍での売上確保や、人手不足を指摘する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答 : 75 社中 43 社、回答率 57.3%**

○市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」4.8%(0.0%)、「普通」23.8%(16.2%)、「悪い」57.1%(62.2%)、「大変悪い」14.3%(21.6%)となり、D I は、▲66.7(▲83.8)と17.1ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」4.8%(5.4%)、「普通」21.4%(16.2%)、「悪い」59.5%(56.8%)、「大変悪い」14.3%(21.6%)となり、D I は、▲69.0(▲73.0)と3.9ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.3%(8.1%)、「やや増加」9.3%(5.4%)、「変わらない」16.3%(8.1%)、「やや減少」32.6%(40.5%)、「減少」39.5%(37.8%)となり、D I は、▲60.5(▲64.9)と4.4ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は、「好転」0.0%(5.6%)、「やや好転」14.0%(8.3%)、「変わらない」27.9%(19.4%)、「やや悪化」32.6%(38.9%)、「悪化」25.6%(27.8%)となり、D I は、▲44.2(▲52.8)と8.6ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上動向

好転要因では、食用品販売業を中心に、コロナウイルスの影響による家庭内需要増加といった回答があった。  
悪化要因では、コロナウイルスによる外出、イベント、観光関連等の自粛による店頭売上減少や卸売り先、特に飲食店・宿泊業の不振等といった回答が多く寄せられた。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増に伴う利益増等といった回答の他、利益率の向上や催事が出来ないことによる支出の低下などの回答があった。  
悪化要因では、コロナウイルスによる外出自粛の影響を受けた売上減や販売先（造船業、飲食業、宿泊業等）の不振といった回答があった。

○経営上の問題・課題

人手不足や採用難、資金繰りを不安視する声に加え、コロナ禍の収束、景気回復を期待する声が寄せられた。

(サービス業) 回答 : 88 社中 39 社、回答率 44.3%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」0.0%(0.0%)、「普通」7.7%(17.6%)、「悪い」69.2%(56.9%)、「大変悪い」23.1%(25.5%)となり、D I は、▲92.3(▲82.4)と10.0ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」0.0%(0.0%)、「普通」17.9%(21.6%)、「悪い」46.2%(43.1%)、「大変悪い」35.9%(35.3%)となり、D I は、▲82.1(▲78.4)と3.6ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0.0%(0.0%)、「やや増加」2.6%(5.9%)、「変わらない」7.7%(11.8%)、「やや減少」28.2%(19.6%)、「減少」61.5%(62.7%)となり、D I は、▲87.2(▲76.5)と10.7ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は、「好転」0.0%(0.0%)、「やや好転」2.6%(2.0%)、「変わらない」13.2%(15.7%)、「やや悪化」23.7%(23.5%)、「悪化」60.5%(58.8%)となり、D I は、▲81.6(▲80.4)と1.2ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因に関する記述はなかった。

悪化要因では、飲食・宿泊・娯楽・運送・イベント関連等、サービス業の幅広い業種からコロナウイルスによる来客減や催事の中止による売上減といった回答の他、感染拡大防止措置のあおりを受けた営業難を指摘する声も寄せられた。

○昨年同期の採算動向

好転要因に関する記述はなかった。

悪化要因では、コロナウイルスによる売上減といった声が多く寄せられた。

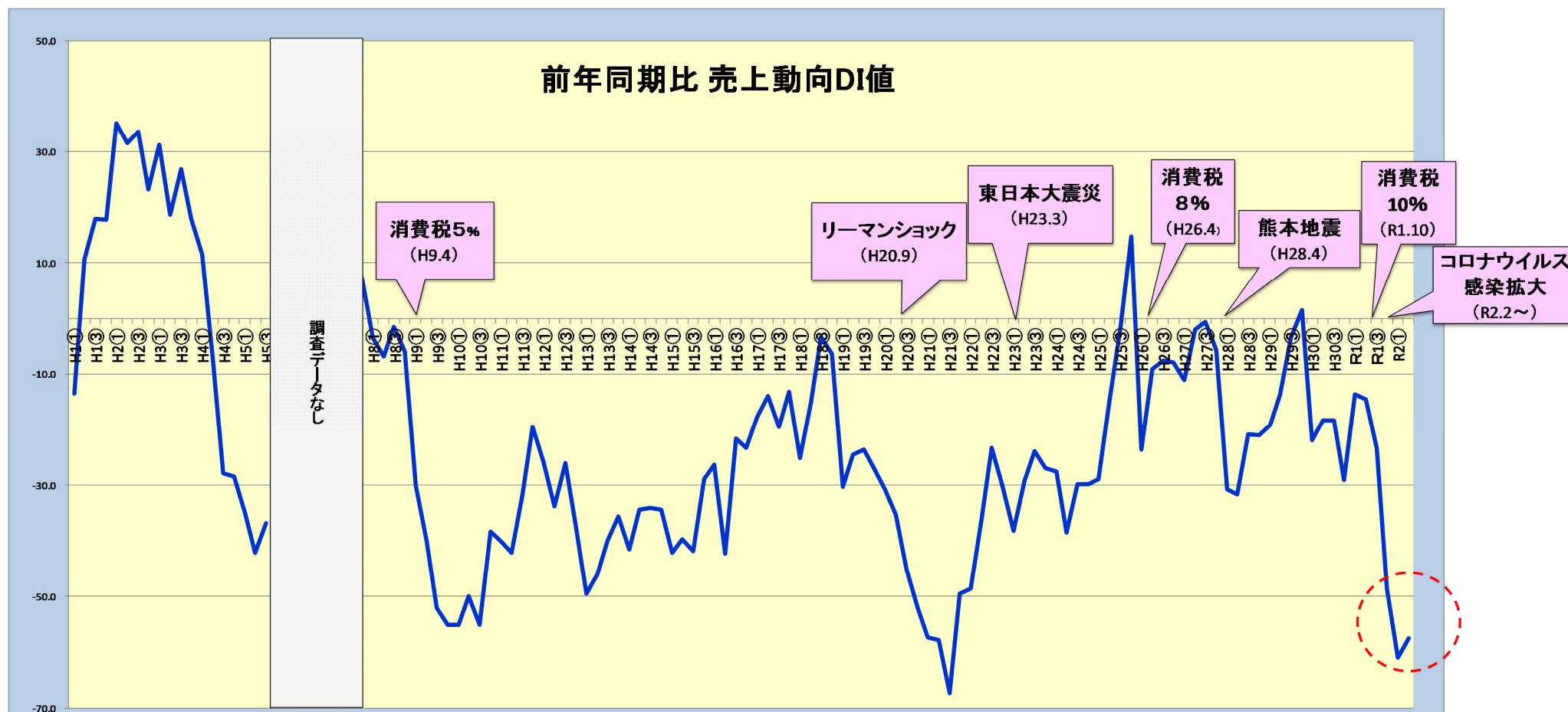
○経営上の問題・課題

人材不足を懸念する声や雇用調整助成金の継続を求める声等が寄せられた。

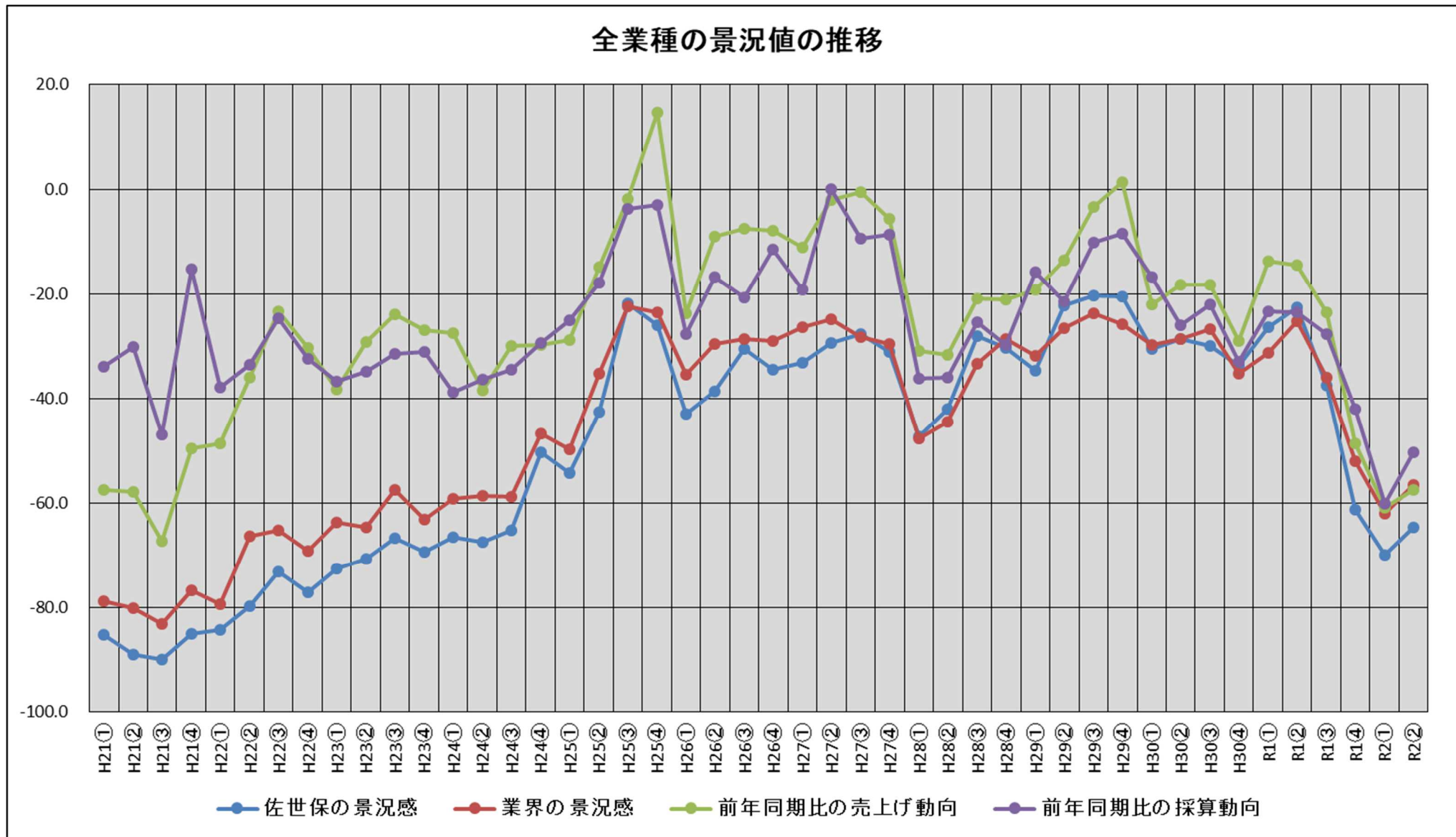
以上



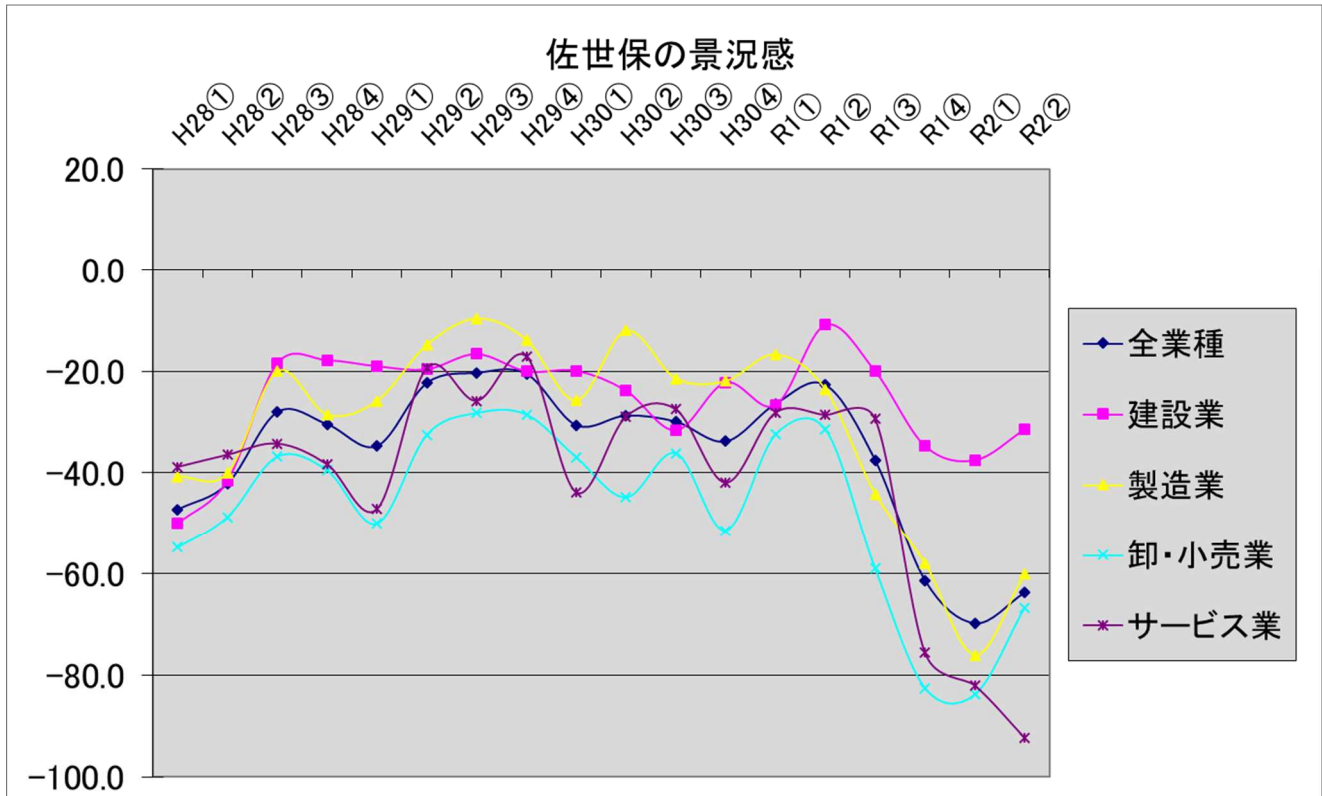
1-1 前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）



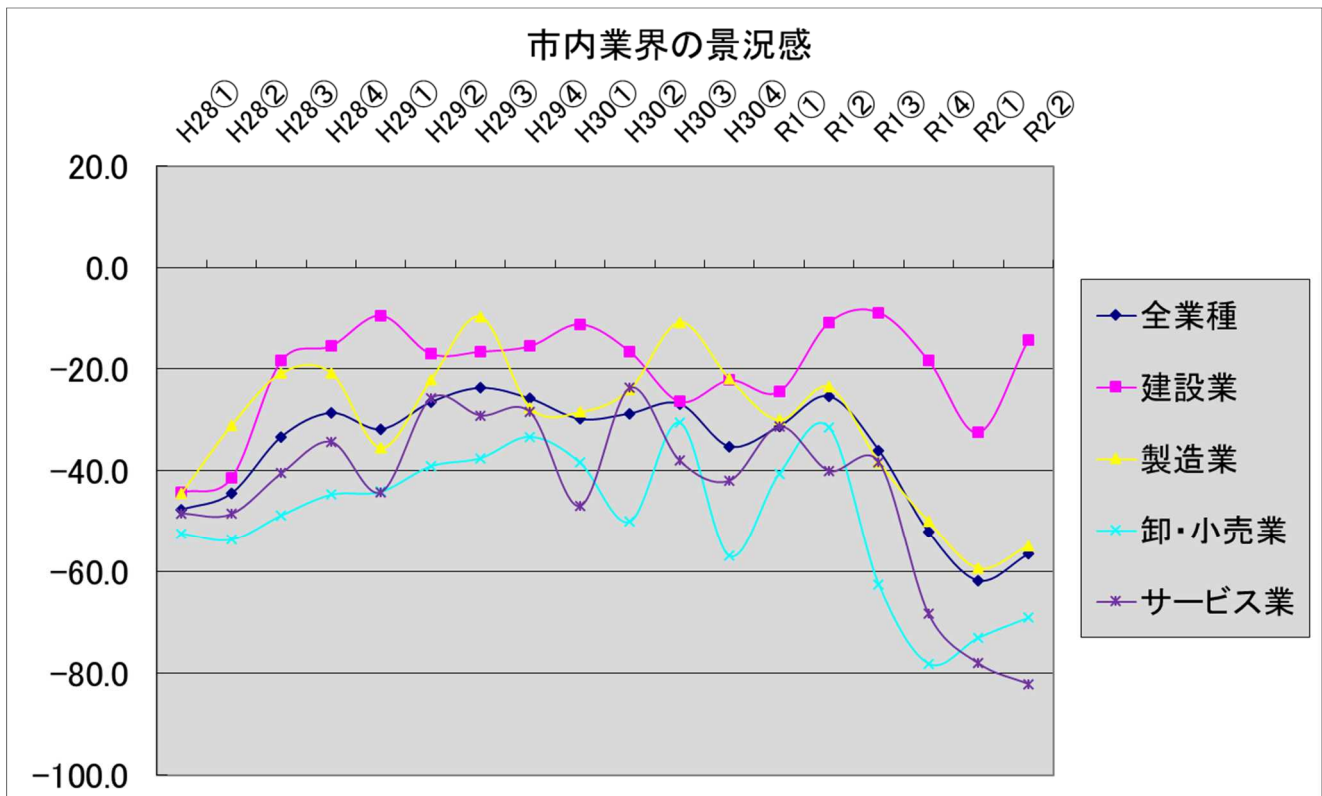
図表 1-2 【全業種D I 値の推移（平成 21 年～）】



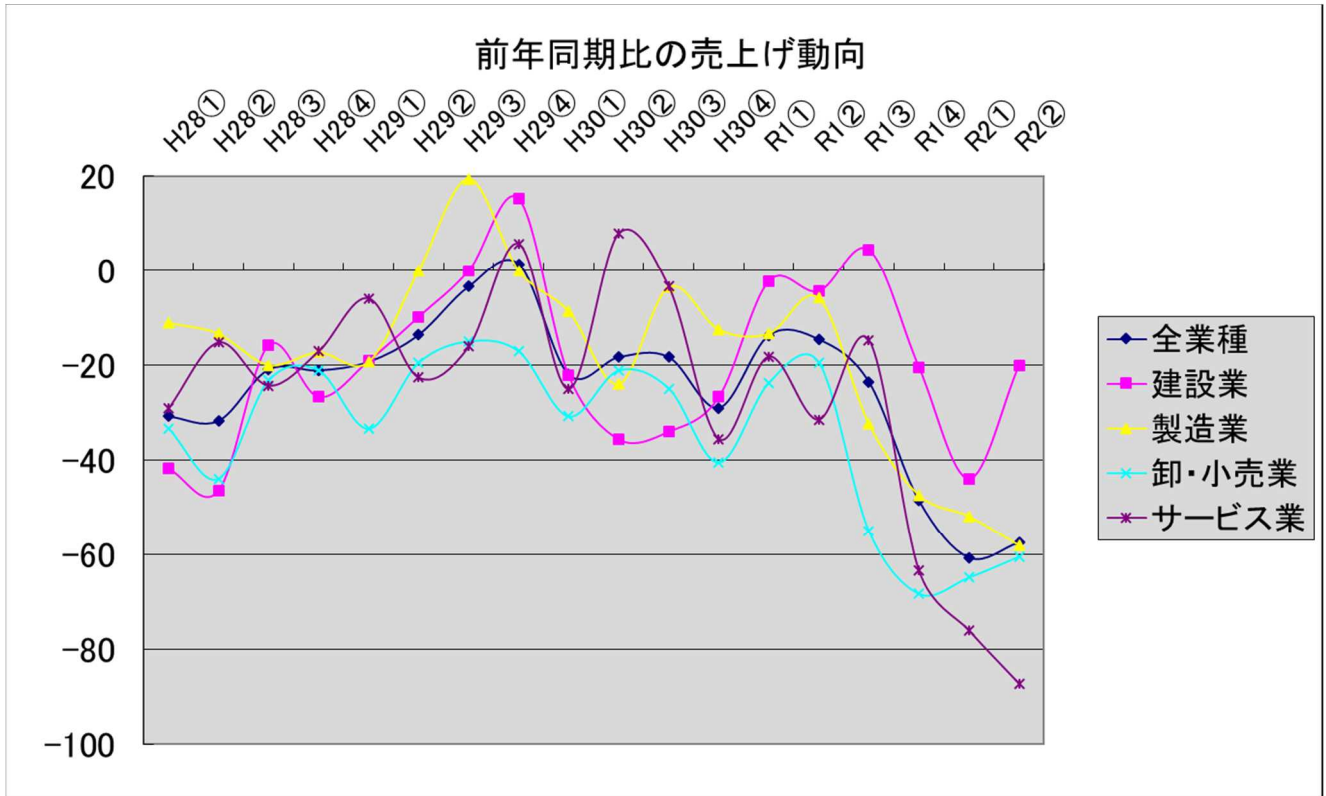
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 28 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 28 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 28 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 28 年～）】

